

# 山に向かって翼を広げる

～地域産材をふんだんに使い、短工期で建てる～

1) 施設名 (用途)	掛川市森林組合 新事務所 (事務所等)
2) 所在地	掛川市大和田 320-1
3) 事業実施主体	掛川市森林組合
4) 設計者	(有)村松篤設計事務所 (浜松市)
5) 施工者	(株)エフエフ住宅 (掛川市)
6) 工期	平成28年11月 ~ 平成29年4月
7) 施設概要	木造2階建て+鉄骨造平屋建て (内外装木質化)
8) 規模 (延面積)	333.71 m <sup>2</sup> (事務所棟 243.71 m <sup>2</sup> 、倉庫棟 90 m <sup>2</sup> )
9) 主な使用樹種	構造材 (土台: 掛川産桧、柱: 掛川産桧・杉、梁: 天竜杉) 厚板集成版 (掛川産桧、掛川産杉) 内外造作材 (掛川産杉) 圧密複合フローリング (掛川産杉単板+静岡県産材合板)
10) 施設の特徴等	掛川市郊外の農村地域に建てられた、森林事業に従事する者のための施設である。建物は木造の事務所棟と鉄骨造の倉庫棟の2棟で構成され、どちらも地域産の桧・杉を多用し、西から東に向かって棟が上がり、山に向かって翼を広げるような末広りの台形上の平面の平面となっている。事務所棟の構造材は一般に流通されている120mm (4寸) 巾の無垢材で構成され、特別な金物を用いずに大工の手によって架構を組み上げた。床・壁・屋根面については、耐力構面を確保した120mmの厚板集成版を採用することで、仕上げと断熱が兼用でき、建て方から45日の短工期で完成した。倉庫棟に用いた掛川産桧による内外装兼用の厚板集成版は、わずか1日半の施工で仕上げが完了した。地域産材の特徴を活かしつつ、木材を多用する施工システムが実現された。



事務所棟全景



倉庫棟 (左奥) と事務所棟 (右手前)



事務所棟内観



事務所棟建て方